

2006年5月31日

ビジネスに使えるL2VPNソフトウェア「L2Connect」を今秋より販売開始

三菱マテリアル株式会社(社長:井手 明彦、資本金1,017億円)の戦略事業開発室は、レイヤ2仮想プライベートネットワーク(L2VPN)の持つメリットをビジネスに活用するためのソフトウェア「L2Connect」を開発し、今秋より販売致します。開発中の本製品は、6月5日から9日に幕張メッセにて開催される「INTEROP TOKYO 2006」に出展を予定しています。

●新製品開発の背景

データリンク層(レイヤ2)を仮想化するL2VPNソフトウェアには多くのメリットがありますが、運用の負荷が大きいことやユーザが難しい設定を行わなければならないことから、これまでビジネス用途では十分に活用されてきませんでした。そこで当社は、ビジネス上、容易に使えるL2VPNソフトウェアとして「L2Connect」を開発しました。

●新製品の特徴

1) ビジネスに使うための製品

当社が蓄積してきたVPN技術に加え、ASP型VPNサービス事業者やネットワーク構築事業者の経験、セキュアイーサ・マーケティング株式会社によるマーケティング成果等をもとに、ビジネスに使えるL2VPNソフトウェアであるために必要となる機能を十分に検討し、「L2Connect」に反映させております。

2) 導入から運用までのトータルコストの削減

ネットワークの設計や運用、ユーザ管理等にかかる目に見えないコストを削減するため、VLANやSNMP、Radiusといった標準技術に対応しております。導入済みのソフトウェア及びハードウェア資源が、「L2Connect」でも有効に活用できます。

3) ユーザ利用負担の軽減

クライアントソフトウェアに関しては、インストールから通信に必要な設定までほとんどが自動化されています。利用時にも、認証以外の部分でソフトウェアの存在を意識させることはありません。

●今後の展開

「L2Connect」を更に魅力あるL2VPNソフトウェアとして提供するため、当社は今後もパートナーの協力を得ながら開発を継続して参ります。

販売に際しては、ASP事業者などのビジネスへ導入を働きかけるとともに、VPNソフトウェアとして特約店を通じた販売も行っていく予定です。

また、「L2Connect」販売開始後も、SoftEther CAは従来と同様に販売を行います。

お客様からのお問合せ: 戦略事業開発室 VPNinfo@mmc.co.jp

ホームページ: <http://www.kisp.jp>

以上

別紙1

L2Connectの概要

1. 基本仕様

通信レイヤ OSI参照モデル 第2層 (データリンク層)

暗号化方式 RC4、DES、3DES、AES

(OpenSSL ライブラリを使用)

認証方式 電子証明書認証(X.509)

2. サーバソフトウェア仕様

同時接続数 1,024

スループット SoftEther CA Server 1.1 340Mbps

SoftEther CA Server 1.2 360Mbps

3. セキュリティ機能

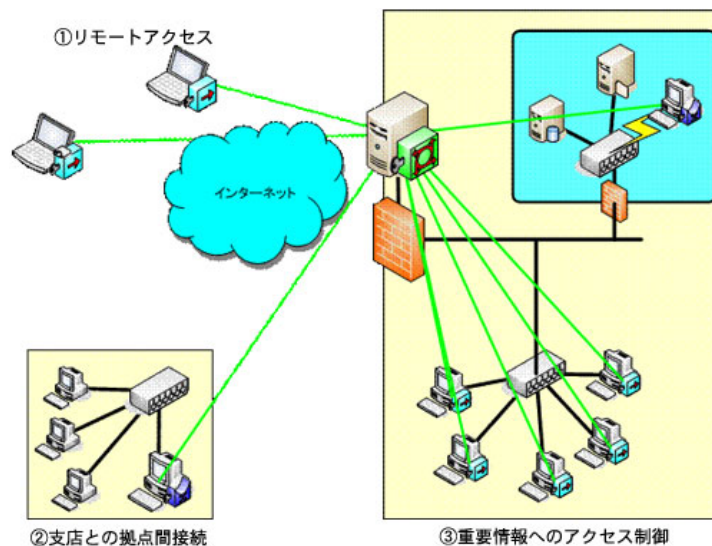
電子証明書を用いたクライアントの認証
認証デバイス対応
仮想MACアドレスによるフィルタリング
ライセンスによる通信グループ作成
OSのブリッジ機能を無効化
接続元IPアドレスによる制限
サーバでの詳細な通信制御
VPNへ接続するPCの制限(ブリッジ接続利用時)

4. 対応予定認証デバイス

大日本印刷株式会社	Standard 9、Felica
NTTコミュニケーションズ株式会社	eLWISEカード
飛天ジャパン株式会社	ePass1000、ePass2000 BioPass3000
株式会社アラジンジャパン	eToken PRO
日本セーフネット株式会社	iKey2000、iKey2032
ロジカルテック株式会社	LOCK STAR-PKI

別紙2

L2Connectの利用イメージ



[1] リモートアクセス

社外の営業員や出張者が、安全に社内ネットワークにアクセスし、在庫情報などを把握することが可能です。

[2] 支店との拠点接続

小規模の拠点と本社とを安価に結ぶことができます。経理情報等を社内でも共有化することができます。

[3] 重要情報へのアクセス制御

個人情報等、厳密な管理を必要とする情報に対して、認証されたユーザのみがアクセスするシステムを簡単に構築できます。